



11月定例会が始まりました

各補正予算の提案

3回目ワクチン接種の予算や、土砂災害などの復旧予算、市職員ボーナス削減など

資源ギャラリーでの

ごみ処理が変更

合併以降大東・大須賀地域については旧市内とは別の方式で委託されていましたが、全市内一括の全ごみ量の割合で処理料が計算されるようになる予定です。掛川市の負担割合は増えます。

指定管理

公共施設を直営から民間譲渡、指定管理と切り替えていく流れが続いています。管理の委託先が社協などの福祉団体・文化団体や地域団体から民間会社に変わっていくとき、本来に公共施設の役割が保持できるのか疑問です。全国的には図書館まで民間にしているところも。住民サービス低下につながる指定管理に共産党は反対しています。

公務員給与を下げているでしょうか

今年の人事院勧告では平均5万円ほどの公務員のボーナス削減が答申されました。しかし国は国家公務員のボーナス削減を来年度以降に先送りしました。経済が冷え切っている現状での賃下げが不況を加速しかねないからです。

掛川市は市職員のボーナス削減を行なおうとしています。ほとんどが市民である公務員の賃下げは地域により影響は与えませんが、公務員は給与をもらいます。初任給18万8700円、勤続25年でも40万円に満たない給与です。また今年、議員の期末手当の削減も提案されています。特別養手当や交通費、厚生年金、退職金などは一切なく、ここから国保・年金・税金と引かれると、子育て中の現役世代にとっても厳しいし、失業手当などもらいますが、初任給18万8700円、勤続25年でも40万円に満たない給与です。また今年、議員の期末手当の削減も提案されています。特別養手当や交通費、厚生年金、退職金などは一切なく、ここから国保・年金・税金と引かれると、子育て中の現役世代にとっても厳しいし、失業手当などもらいますが、初任給18万8700円、勤続25年でも40万円に満たない給与です。



政党助成金こそおかしいぞ

今、国会議員の文通費を巡り議論がされています。もちろんこの制度もおかしいところの変更をするべきです。

しかし「政党助成金」は年間で総額320億円、国会議員1人当たり換算すると年間4500万円。毎月300万円以上という桁違いの金額です。

この機会に、最大の無駄遣いである政党助成金そのものにメスを入れ、廃止の議論が必要です。

共産党は思想信条の自由に接触し、憲法違反であるとして一度も受け取っていません。選挙の時や年末などに地域の方などからカンパも頂き、政治活動や選挙活動に充てています。

2021年度政党助成金の交付額

自民党には170億円！

自由民主党	17,021,636,000円
立憲民主党	6,889,389,000円
公明党	3,005,417,000円
日本維新の会	1,817,377,000円
国民民主党	2,400,722,000円
NHK受信料を支払わない方法を教える党	166,679,000円
社会民主党	312,283,000円
れいわ新選組	160,179,000円

※政党名は1/1(基準日)時点



孫とねずみ山で散歩して拾いもの子育ての大変さを徐々に実感しました

はじめての会派代表質問
12/7(火)私は午後です
コロナ禍で傍聴席数が制限されています。ネット中継や録画での視聴にもご協力を。
* * *
WEBde議会報告会
ごらんになりましたか？アンケートに是非ご協力下さい！(メ切り1月末)